令和８年度 病害虫発生情報 第５号

令 和 ８ 年 １ ０ 月 ２ ３ 日
千葉県農林総合研究センター長

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）の発生状況について

１　発生状況

（１）県南部５地点のフェロモントラップ調査において、チャバネアオカメムシの９月の１日当たり誘殺数は8.92頭（平年値4.53頭）で、過去10年と比較して２番目に多かった（図）。

（２）10月（第１～３半旬）の１日当たり誘殺数は平年並で推移しているが（図）、ヒノキ球果の吸汁痕数調査結果から、９月中旬以降に繁殖場所から離脱していると考えられるため、引き続き注意が必要である。

（３）気象庁の１か月予報（10月22日発表）によると、気温は平年より高くなると見込まれており、果樹カメムシ類（写真）の活動が活発になる可能性があるため、特に県南部の果樹園（カンキツ類、カキ等）では注意が必要である。

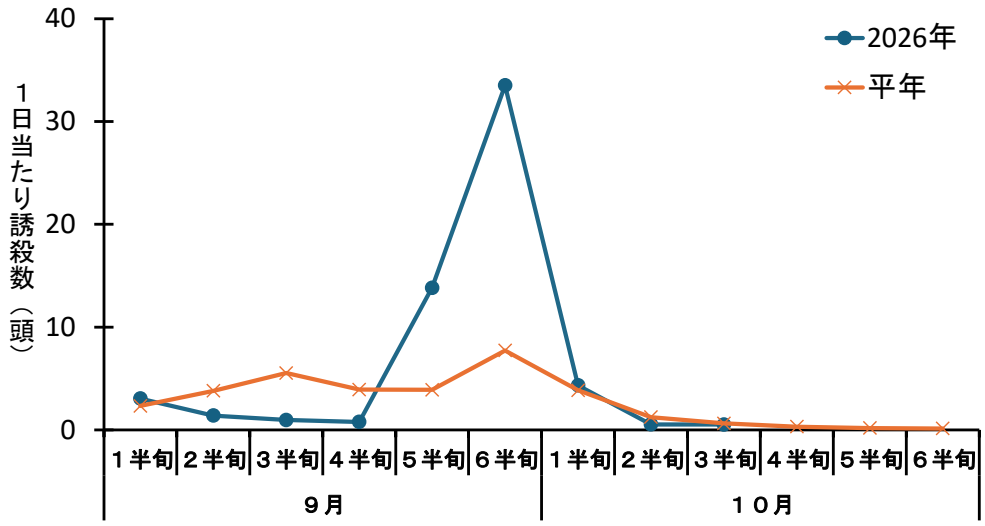


図　県南部5地点のフェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移

２　防除上の注意事項

（１）昼間よりも夜間に活動が活発化する傾向がある。昼間に園地を見回して姿が見えなくても、夜間に飛来して被害が拡大しているケースが多いため注意する。

（２）ヒノキ・スギ林の隣接地域や台風・暴風雨後の園地では、急激に発生が増加する場合があるので注意する。

（３）発生量は地域や園地で差があるため、日没直後から１時間後頃に園内を見回り、飛来を確認したら速やかに薬剤散布を行う。特に、気温が 20～25℃で風が弱い日は注意する。

（４）薬剤を散布する場合は、農薬使用基準に定められた使用時期（収穫前日数）に注意する。


チャバネアオカメムシ


ツヤアオカメムシ


クサギカメムシ

写真　果樹カメムシ類

表　カメムシ類に登録がある主な防除薬剤（2026 年 10 月 21 日現在）

作物名	ＩＲＡＣコード※1	薬剤名	希釈倍数	使用時期/使用回数※2
カンキツ	３Ａ	テルスター水和剤	1,000～2,000	収穫前日まで/３回以内
	４Ａ	スタークル/ アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで/３回以内
カキ	３Ａ	アグロスリン水和剤	1,000～2,000	収穫前日まで/３回以内
		テルスターフロアブル	3,000～6,000	収穫３日前まで/２回以内
	４Ａ	スタークル/ アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで/３回以内
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000～4,000	収穫前日まで/３回以内

※１　ＩＲＡＣ（殺虫剤抵抗性対策委員会）コード：殺虫剤の作用機構の分類を表すものである。

３Ａ：ピレスロイド系

４Ａ：ネオニコチノイド系

※２　薬剤名が異なっていても同じ成分を含む薬剤があるので、散布前に確認し、同じ成分がある場合、合計使用回数が制限を超えないように注意する。

注　農薬の使用に当たっては、最新の農薬登録内容を確認し、製品ラベルに記載された使用基準等を守り適正に使用する。

・病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/
・薬剤の選定については，最新の農薬登録情報を確認してください。
https://pesticide.maff.go.jp/

問合せ先
千葉県農林総合研究センター病害虫防除課
〒266-0014　千葉市緑区大金沢町 180 番地 1
TEL 043(291)6077　FAX 043(226)9107
E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp